
參考資料

安心な学校づくりのためのアンケート

練馬区立中学校卒業生ご本人用アンケート

ご回答にあたって

- アンケートは、この用紙で回答する方法と、スマートフォンやパソコンなどから回答する方法のどちらかで回答することができます。スマートフォンなどから回答する場合は、次のURL または二次元バーコードからアクセスしてください。また、回答用のパスワードは、次のものを入力してください。

URL :

パスワード :

- 回答内容は、個人が特定できないかたちで集計します。また、アンケート用紙の送付や謝礼の送付（アンケートに回答いただいた場合にお送りいたします）の目的以外に個人の情報を使用することはありません。

- 回答は、次のページから始まる質問をよんで、あてはまる番号に○をつけるか、枠の中に数字を記入してください。（スマートフォンなどから回答する場合には、画面上で回答を選ぶか、数字を入力してください。）

- 質問は全部で21問あります。答えたくない質問は、答える必要はありません。答えが思いうかばない場合や答えたくない質問は、答えずに次に進んでください。

- 令和3年（2021年）12月21日（火曜日）までに回答をお願いします。この用紙で回答した場合は、「返信用封筒」に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

【お問合せ先】

練馬区立学校教育支援センター 研究相談係

Tel : 03-6385-9911 (月～金 8:30～17:15)

E-mail : EDCENT@city.nerima.tokyo.jp

このアンケートに回答いただいている方についておたずねします

問 1 このアンケートに回答いただくのは、あて名の練馬区立中学校卒業生の方本人ですか。代理の方が回答する場合には、差しつかえなければ、どなたが回答いただいたかや、代理で回答される理由についても教えてください。(〇は1つ)

1. あて名の練馬区立中学校卒業生の方本人
2. 代理の方



「代理の方」の場合

代理で回答いただいた方や代理回答の理由

1. 父
2. 母
3. 祖父・祖母
4. きょうだい
5. その他(具体的に: _____)

代理回答の理由 (_____)

※代理の方が回答される場合、以下からの質問における「あなた」は、あなた自身ではなく、このアンケートの対象の練馬区立中学校卒業生の方について回答してください。

あなたのことについておたずねします

問 2 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

1. 男
2. 女
3. その他
4. 答えたくない

問 3 あなたの生まれた年月をお答えください。(枠の中に数字を記入)

西暦

年

月生まれ

ちゅうがっこう そつぎょう げんざい ようす き
中学校を卒業してから現在までの様子についてお聞きします

問 4 あなたは、中学校を卒業してすぐの時点で、どのような進路に進みましたか。(〇は1つ)

しんがく
【進学】

1. 全日制の高等学校
2. 定時制の高等学校 (チャレンジスクール含む)
3. 通信制の高等学校 (通信制サポート校含む)
4. 特別支援学校高等部・高等特別支援学校
5. その他の学校 (具体的に： _____)

しんがく以外
【進学以外】

6. 就職 (パートやアルバイト)
7. 就職 (正社員)
8. 家業や家の手伝い
9. その他

問 5 あなたは現在、次のいずれかの学校に通っていますか。(〇は1つ)

1. 全日制の高等学校
2. 定時制の高等学校 (チャレンジスクール含む)
3. 通信制の高等学校 (通信制サポート校含む)
4. 専門学校
5. 特別支援学校高等部・高等特別支援学校
6. 短大・大学
7. その他の学校 (具体的に： _____)
8. 学校には通っていない (高等学校などを卒業した方を含む)

とい 問 6 あなたは現在、何か仕事をしていますか。(○は1つ)

1. とくに仕事はしていない
2. パートやアルバイトではたらいている
3. 正社員ではたらいている
4. その他(具体的に: _____)

とい 問 7 あなたは、中学校卒業後に、以下のようなことを経験したことがありますか。(○はいくつでも)

1. 転校
2. 留年
3. 中退
4. 高卒認定試験の受験
5. 転職
6. 仕事をやめたこと
7. 特になし

とい 問 8 現在、あなたのことをよく理解してくれている方はいますか。(○は1つ)

1. いる
2. いない

↓ 「いる」と答えた場合

とい 問 8-1 それはだれですか。(○はいくつでも)

1. 家族
2. 友人・知人
3. 学校の先生(専門学校や大学の先生も含みます)・保健室の先生
4. 病院・診療所の先生や相談員等
5. 職場の人
6. 恋人・配偶者
7. SNS等でつながっているが直接会ったことはない人
8. その他(具体的に: _____)

問 9 全体として、あなたはあなたの最近の生活全般に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で、あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

まったく満足
していない

十分に
満足している

小学生、中学生だった時の様子についてお聞きします

問 10 あなたが学校をよく休み始めたのは、何年生のころですか。(〇は1つ)

1. 小学校低学年 (1・2年生) のころ
2. 小学校中学年 (3・4年生) のころ
3. 小学校高学年 (5・6年生) のころ
4. 中学校1年生のころ
5. 中学校2年生のころ
6. 中学校3年生のころ
7. 覚えていない

問 11 あなたが中学校3年生のときに学校を休んでいたころの気持ちとして、あてはまるものをそれぞれ選んでください。(それぞれ、〇は1つ)

	あてはまる	少しあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
a. ほっとした・楽な気持ちだった	1	2	3	4
b. 自由な時間が増えてうれしかった	1	2	3	4
c. やりたいことが増えた	1	2	3	4
d. 早く学校に登校したかった	1	2	3	4
e. 勉強の遅れに対する不安があった	1	2	3	4
f. 進路・進学に対する不安があった	1	2	3	4
g. 自分のことが嫌で仕方がなかった	1	2	3	4
h. 自分が他の人にどう思われているかが不安だった	1	2	3	4

問 12 あなたが学校を休み始めたときのきっかけは何ですか。思いあたるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【学校のこと】

1. 友達のこと (いやがらせや、いじめがあった)
2. 友達のこと (いやがらせやいじめ以外、友達がいなかった、友達が転校したなど)
3. 先生のこと (合わなかった、怖かったなど)
4. 勉強のこと (勉強がわからなかった、授業がつまらなかった、成績がよくなかったなど)
5. 部活動の問題 (合わなかった、同じ部活動の友達とうまくいかなかった、試合に出場できなかったなど)
6. 学校のきまりなどの問題 (きびしかった、制服や持ち物のことなど自由がなかった)
7. 学校やクラスに合わなかった
8. それ以外の理由で学校生活と合わなかった
(具体的に: _____)

【学校以外のこと】

9. 家族のこと (親と仲が悪かった、親に怒られたなど)
10. 親の学校に対する考え (親がそもそも学校に行く必要はないと考えていたなど)
11. 家族の世話や家事が忙しかった
12. 身体の不調 (朝起きられなかった、学校に行こうとするとおなかが痛くなったなど)
13. インターネット、ゲーム、動画視聴、SNS (LINEやツイッターなど) などの影響
14. なぜ学校に行かなくてはならないのかがわからなかった
15. その他 (具体的に: _____)
16. 特にきっかけはない、または、わからない

問 13 あなたが中学校3年生のときに、あなたのことをよく理解してくれている人はいましたか。

(○は1つ)

1. いた

2. いなかった

↓ 「いた」と答えた場合

問 13-1 それはだれでしたか。(○はいくつでも)

1. 家族

2. 友人・知人

3. 学校の先生・保健室の先生

4. スクールカウンセラー・心のふれあい相談員

5. スクールソーシャルワーカー

6. 適応指導教室(トライ・ぱれっと・つむぎ)の先生や相談員

7. 教育相談室の相談員

8. 病院・診療所の先生や相談員等

9. 恋人

10. SNS等でつながっているが直接会ったことはない人

11. その他(具体的に: _____)

問 14 あなたが中学校3年生だったとき、どのような方法だったら勉強を続けやすかったと思いますか。(○はいくつでも)

※当時あなたが実際に行った方法かどうかにはかかわらずお答えください。

1. 保健室や相談室など学校内の別室で学習する

2. 先生が家庭に訪問し勉強する

3. 適応指導教室(トライ、ぱれっと、つむぎ)に通う

※ 適応指導教室: 何らかの要因により登校しない、あるいはしたくてもできない状況にある子どもを対象とした、学校とは別の教室で、小集団での学習や集団活動を行います。練馬区には中学生向けに、トライ、ぱれっと、つむぎがあります。

4. 図書館、青少年館、児童館などに通って自習する

5. 民間の教育機関(フリースクールや塾など)に通う

6. 配信された授業などの動画を好きなきときに視聴する

7. デジタル教材や学習アプリを使って学習する

8. オンライン授業にリアルタイムで参加する

9. SNS、電子メール、電話などを用いて助言をしてもらいながら家庭で勉強する

10. その他(具体的に: _____)

問 15 あなたが中学校3年生のとき、次のようなことはありましたか。また、「あった」場合、そのことについてよかったですか。

(実施・利用の有無についてどちらかに○を1つ。さらに、それぞれ「あった」場合は、「評価」についてもいずれかに○を1つ)

	実施・利用の有無 (どちらかに○)		「あった」場合の評価 (いずれか1つに○)			
	なかった	あった	よかった	どちらか といえば よかった	どちらか といえば よくな かった	よ くな かった
a. 学校の先生による家庭訪問	1	2	1	2	3	4
b. 学校の先生からの電話などの連絡	1	2	1	2	3	4
c. 学校の先生・保健室の先生との相談	1	2	1	2	3	4
d. 保健室や相談室などの別室登校	1	2	1	2	3	4
e. スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談	1	2	1	2	3	4
f. スクールソーシャルワーカーへの相談	1	2	1	2	3	4
g. 適応指導教室(トライ)	1	2	1	2	3	4
h. 居場所ぱれっと	1	2	1	2	3	4
i. 光が丘第一分室つむぎ	1	2	1	2	3	4
j. 練馬区の教育相談室 (※光が丘、練馬、関町、大泉の4か所にあります)	1	2	1	2	3	4
k. その他の公的な相談機関等 (児童相談所、福祉事務所など)	1	2	1	2	3	4
l. 民間施設 (「フリースクール」と呼ばれる場所など)	1	2	1	2	3	4
m. インターネット上の教育サービス	1	2	1	2	3	4
n. SNSの悩み相談	1	2	1	2	3	4

とい 問 16 あなたが^{ちゅうがっこう}中学校^{ねんせい}3年生のとき、^{つぎ}次のようなことについて^{だれ}誰かに^{そうだん}相談したいと思ったり、^{おも}手助け^{てだす}などがあればいいのにおもったことがありますか。(○はいくつでも)

1. ^{しんがく}進学について
2. ^{にんげんかんけい}人間関係について
3. ^{しごと}仕事につくことについて
4. ^{がっこう}学校の^{べんきょう}勉強について
5. ^{じぶん}自分の^{きもち}気持ちをはっきりと^{ひょうげん}表現したり、^{ひと}人とうまくつきあったりするための^{ほうほう}方法について
6. ^{ゆうじん}友人と^{しあ}知り合えたり、^{なかま}仲間と^す過ごせたりする^{いばしょ}居場所について
7. ^{こころ}心の^{なや}悩みを^{そうだん}相談する^{ばしょ}場所について
8. ^{きそくただ}規則正しい^{せいかつしゅうかん}生活習慣について
9. その他(具体的に: _____)
10. とくにない

とい 問 17 いま考えると、^{かんが}あなたが^{ちゅうがっこう}中学校^{ねんせい}3年生のとき、^{がっこう}学校を^{やす}休みがちだったことをどう^{おも}思いますか。
(○は1つ)

1. ^{がっこう}学校に行けばよかった
2. ^{がっこう}学校に行かないのはしかたがなかった
3. ^{がっこう}学校に行かなくてよかった
4. その他(具体的に: _____)
5. ^{おも}なんとも思わない
6. わからない

※このページ（11ページと12ページ）に回答いただいた内容は、練馬区において、前のページの問20までに回答いただいた部分と切り離して管理します。

さいごに

問 21 ご協力ありがとうございました。可能であれば、学校を休みがちだった時のことや、今の生活についてももう少しお話をおききたいとおもいます。

あなたは、追加のアンケートなどにご協力いただくことができますか。令和4年（2022年）の1月～3月の時期に、追加でアンケートまたはインタビューを依頼させていただくことを予定しています。（〇は1つ）

1. アンケートなら協力できる
2. アンケートでも、インタビューでも協力できる
3. 追加でのアンケートやインタビューには協力できない

↓
「2. アンケートでも、インタビューでも協力できる」と答えた場合

問 21-1 インタビューの方法として、あなたにとって都合の良いものを選んでください。（〇はいくつでも）

1. 電話
2. オンラインツール
3. 対面（直接会って話をする）

（対面でご依頼する場合には、日時に加えて場所についてもご相談をさせていただきます。）

問 21-2 インタビューをご依頼するにあたって、連絡可能な電話番号またはメールアドレスを教えてください。

a. 電話番号	—	—
b. メールアドレス	_____@_____	

回答いただいたご連絡先は、練馬区個人情報保護条例に基づき、厳重に管理します。インタビューの依頼以外の目的で使用することはありません。

裏面もご確認ください



つづ
続いて、アンケートの謝礼等の送り先を教えてください。(〇は1つ)

※令和4年(2022年)1月以降に、500円相当のクオカードを謝礼としてお送りします。

なお、「追加のアンケート」にご協力いただける場合には、そちらの案内もあわせてお送りさせていただきます。

1. このアンケートが送られてきた住所と同じ住所
2. このアンケートが送られてきた住所とは別の住所
(下の枠に送り先の住所を書いてください)

じゅうしょ ご住所	〒 ー <hr/> <hr/> <hr/>
--------------	---

かいとう
回答いただいたご連絡先は、練馬区個人情報保護条例に基づき、厳重に管理します。追加のアンケートの依頼や謝礼の送付以外の目的で使用することはありません。

きょうりょく
ご協力ありがとうございました。アンケートはこれで終了です。

がつ にち かようび
12月21日(火曜日)までに、返信用封筒(切手不要)に入れて郵便ポストにご投函いただくか、スマートフォンなどからウェブ上での回答をお願いします。



安心な学校づくりのためのアンケート

保護者用アンケート

ご回答にあたって

- アンケートは、この用紙で回答する方法と、スマートフォンやパソコンなどから回答する方法のどちらかで回答することができます。スマートフォンなどから回答する場合は、次の URL または二次元バーコードからアクセスしてください。また、回答用のパスワードは、次のものを入力してください。

URL ：

パスワード ：

- 回答内容は、個人が特定されない形で集計します。なお、本用紙右上の整理・ID 番号は、お子さんの回答との対応関係を把握するためのものです。
- 回答は、次のページから始まる質問文の案内にしたがって、あてはまる番号に○をつけるか、枠内に数字を記入してください。（スマートフォンなどから回答する場合には、画面上で回答を選ぶか、数字を入力してください。）
- 質問は全部で 14 問あります。答えたくない質問は、答える必要はありません。答えが思いうかばない場合や答えたくない質問は、答えずに次に進んでください。
- 令和3年（2021年）12月21日（火曜日）までに回答をお願いします。この用紙で回答した場合は、「返信用封筒」に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

【お問合せ先】

練馬区立学校教育支援センター 研究相談係

Tel ：03-6385-9911 （月～金 8:30～17:15）

E-mail：EDCENT@city.nerima.tokyo.jp

このアンケートに回答いただいている方についておたずねします

問 1 このアンケートに回答いただくのは、あて名のお子さん（練馬区立中学校卒業生の方）からみてどなたにあたりますか。（○は1つ）

1. 父
2. 母
3. 祖父・祖母
4. きょうだい
5. その他（具体的に：_____）

お子さんが小学生、中学生だったときのことについてお聞きします

問 2 お子さんが中学生のとき、1年間で学校を欠席した日数（病気やけがによる欠席や夏休み等の長期休暇中は除く）をそれぞれお答えください。（だいたいの日数で構いません）（○は1つ）

	0日～ 30日 くらい	30日～ 60日 くらい	60日～ 90日 くらい	90日～ 180日 くらい	180日以上 （ほとんど すべて 欠席した）	覚えて いない
a. 中学校1年生のとき	1	2	3	4	5	6
b. 中学校2年生のとき	1	2	3	4	5	6
c. 中学校3年生のとき	1	2	3	4	5	6

問 3 お子さんが学校をよく休み始めたのは、何年生のころですか。（○は1つ）

1. 小学校低学年（1・2年生）のころ
2. 小学校中学年（3・4年生）のころ
3. 小学校高学年（5・6年生）のころ
4. 中学校1年生のころ
5. 中学校2年生のころ
6. 中学校3年生のころ
7. 覚えていない

問 4 お子さんが学校を休み始めたときのきっかけは何だと考えますか。思いあたるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

【学校のこと】

1. 友達のこと (いやがらせや、いじめがあった)
 2. 友達のこと (いやがらせやいじめ以外、友達がいなかった、友達が転校したなど)
 3. 先生のこと (合わなかった、怖かったなど)
 4. 勉強のこと (勉強がわからなかった、授業がつまらなかった、成績がよくなかったなど)
 5. 部活動の問題 (合わなかった、同じ部活動の友達とうまくいかなかった、試合に出場できなかったなど)
 6. 学校のきまりなどの問題 (きびしかった、制服や持ち物のことなど自由がなかった)
 7. 学校やクラスに合わなかった
 8. それ以外の理由で学校生活と合わなかった
- (具体的に： _____)

【学校以外のこと】

9. 家族のこと (保護者との不仲、保護者の注意への反発など)
10. 保護者の教育方針 (保護者がそもそも学校に行く必要はないと考えていたなど)
11. お子さん自身が家族の世話や家事で忙しかった
12. 身体の不調 (朝起きられなかった、学校に行こうとするとおなかが痛くなったなど)
13. インターネット、ゲーム、動画視聴、SNS (LINEやツイッターなど) などの影響
14. お子さん自身が学校に行く理由がわかっていなかった
15. その他 (具体的に： _____)
16. 特にきっかけはない、または、わからない

問 5 お子さんが中学校3年生のときに学校を休みがちだったころのことについてお聞きします。

a~i のようなことは、お子さんにどのくらいありましたか。(それぞれ、○は1つ)

	よくあった	ときどき あった	あまり なかった	全く なかった	わから ない
a. 落ち込んだり悩んだりしていた	1	2	3	4	5
b. 原因がはっきりしない腹痛、頭痛、発熱などがあった	1	2	3	4	5
c. 家族への強い反抗や暴力があった	1	2	3	4	5
d. インターネットやゲームを一日中していた	1	2	3	4	5
e. 生活リズムが整っていなかった	1	2	3	4	5
f. 無気力な様子だった	1	2	3	4	5
g. 部屋にとじこもりがちで家族との関わりが少なかった	1	2	3	4	5
h. 外出が少なく他人との関わりが少なかった	1	2	3	4	5
i. インターネットやSNSを通じて知り合った人と交流をしていた	1	2	3	4	5

問 6 お子さんが中学校3年生のとき、次のような対応が行われたり、支援機関などを利用したりしましたか。そのときの対応や利用について、状況や評価をお教えてください。
(それぞれ、1～6の中から1つに○)

	行われた				行われなかった	
	よかった	どちらかといえ ばよかった	どちらかといえ ばよくなかった	よくな かった	行われ なくて よかった	行われ ず 残念
a. 学校の先生による家庭訪問	1	2	3	4	5	6
b. 学校の先生からの電話などの連絡	1	2	3	4	5	6
c. 学校の先生・保健室の先生との相談	1	2	3	4	5	6
	利用した				利用しなかった	
	よかった	どちらかといえ ばよかった	どちらかといえ ばよくなかった	よくな かった	知ってい た が利用し な か つ た	知らな く て 利用し な か つ た
d. 保健室や相談室などの別室登校	1	2	3	4	5	6
e. スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談	1	2	3	4	5	6
f. スクールソーシャルワーカーへの相談	1	2	3	4	5	6
g. 適応指導教室（トライ）	1	2	3	4	5	6
h. 居場所ぱれっと	1	2	3	4	5	6
i. 光が丘第一分室つむぎ	1	2	3	4	5	6
j. 練馬区の教育相談室（※光が丘、練馬、関町、大泉の4か所にあります）	1	2	3	4	5	6
k. その他の公的な相談機関等（児童相談所、福祉事務所など）	1	2	3	4	5	6
l. 民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）	1	2	3	4	5	6
m. インターネット上の教育サービス	1	2	3	4	5	6
n. SNSの悩み相談	1	2	3	4	5	6

問 7 問6で、「g. 適応指導教室（トライ）」について、「知っていたが利用しなかった」を選んだ方は、利用しなかった理由を具体的に記入してください。（自由に記述してください）

問 8 お子さんが中学校3年生のとき、病気や障害があること、または病気や障害がある可能性について、心配したことがありましたか？（○は1つ）

- | | | | |
|----------|------------|------------|---------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. あまりなかった | 4. なかった |
|----------|------------|------------|---------|



「よくあった」または「ときどきあった」と答えた場合

問 8-1 そのときにどうされましたか。（○はいくつでも）

1. 心配はあったが特に相談等はしなかった
 2. 学校の担任やスクールカウンセラーに相談した
 3. 区の教育相談室やスクールソーシャルワーカーに相談した
 4. 医療機関等を受診した
 5. その他の機関に相談した（具体的に：_____）

問 9 お子さんが中学校3年生のときに、お子さんに関する次のようなことについて、保護者の方ご自身が、誰かに相談できたり、手助けなどがあればいいのと思ったことがありますか。（○はいくつでも）

1. 進学について
 2. 人間関係について
 3. 仕事につくことについて
 4. 学校の勉強について
 5. 自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について
 6. 友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所について
 7. 心の悩みを相談する場所について
 8. 規則正しい生活習慣について
 9. その他（具体的に：_____）
 10. とくにない

お子さんが中学校を卒業したあとのことについてお聞きします

問 10 お子さんは中学校を卒業してすぐの時点で、どのような進路に進みましたか。(○は1つ)

【進学】

1. 全日制の高等学校
2. 定時制の高等学校（チャレンジスクール含む）
3. 通信制の高等学校（通信制サポート校含む）
4. 特別支援学校高等部・高等特別支援学校
5. その他の学校（具体的に：_____）

【進学以外】

6. 就職（パートやアルバイト）
7. 就職（正社員）
8. 家業や家の手伝い
9. その他

問 11 お子さんは現在、次のいずれかの学校に通っていますか。(○は1つ)

1. 全日制の高等学校
2. 定時制の高等学校（チャレンジスクール含む）
3. 通信制の高等学校（通信制サポート校含む）
4. 専門学校
5. 特別支援学校高等部・高等特別支援学校
6. 短大・大学
7. その他の学校（具体的に：_____）
8. 学校には通っていない（高等学校などを卒業した方を含む）

問 12 お子さんは現在、何か仕事をしていますか。(○は1つ)

1. とくに仕事はしていない
2. パートやアルバイトではたらいている
3. 正社員ではたらいている
4. その他（具体的に：_____）

問 13 お子さんの現在の様子についてお聞きします。a～i のようなことは、どのくらいありますか。
(それぞれ、○は1つ)

	よくある	ときどき ある	あまり ない	全くない	わから ない
a. 落ち込んだり悩んだりしている	1	2	3	4	5
b. 原因がはっきりしない腹痛、頭痛、発熱などがある	1	2	3	4	5
c. 家族への強い反抗や暴力がある	1	2	3	4	5
d. インターネットやゲームを一日中している	1	2	3	4	5
e. 生活リズムが整っていない	1	2	3	4	5
f. 無気力な様子である	1	2	3	4	5
g. 部屋にとじこもりがちで家族との関わりが少ない	1	2	3	4	5
h. 外出が少なく他人との関わりが少ない	1	2	3	4	5
i. インターネットやSNSを通じて知り合った人と交流をしている	1	2	3	4	5

問 14 現在、またはこれからの生活において、お子さんに関する次のようなことについて、保護者の方ご自身が、誰かに相談できたり、手助けなどがあればいいのと思うことはありますか。
(○はいくつでも)

1. 進学について 2. 人間関係について 3. 仕事につくことについて 4. 学校の勉強について 5. 自分の気持ちをはっきりと表現したり、人とうまくつきあったりするための方法について 6. 友人と知り合えたり、仲間と過ごせたりする居場所について 7. 心の悩みを相談する場所について 8. 規則正しい生活習慣について 9. その他（具体的に： _____） 10. とくにない

ご協力ありがとうございました。アンケートはこれで終了です。

12月21日（火曜日）までに、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストにご投函いただくか、スマートフォンなどからウェブ上での回答をお願いします。

安心な学校づくりのための追加アンケート

練馬区立中学校卒業生ご本人用追加アンケート

ご回答にあたって

■ このアンケートは、令和3年（2021年）12月に実施した「安心な学校づくりのためのアンケート」で、追加のアンケートに協力できると回答いただいた方に、学校を休みがちだった時のことや、今の生活についてももう少しお話をお聞きするためのものです。

■ アンケートは、この用紙で回答する方法と、スマートフォンやパソコンなどから回答する方法のどちらかで回答することができます。スマートフォンなどから回答する場合は、次の URL または二次元バーコードからアクセスしてください。また、回答用のパスワードは、次のものを入力してください。

URL :

パスワード :

■ 回答内容は、個人が特定できないかたちで集計します。

■ 令和4年（2022年）3月2日（水曜日）までに回答をお願いします。この用紙で回答した場合は、「返信用封筒」に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

【お問合せ先】

練馬区立学校教育支援センター 研究相談係

Tel : 03-6385-9911 (月～金 8:30～17:15) ※祝日を除きます

E-mail : EDCENT@city.nerima.tokyo.jp

ご回答の方法について

- 回答は、次のページから始まる質問をよんで、あてはまる番号に○をつけるか、数字や文章で記入してください。(スマートフォンなどで回答する場合は、画面上で回答を選ぶか、数字や文章を入力してください。)
- 個人が特定されるようなこと(学校の先生の氏名など)は記入しないでください。
- 答えたくない質問は、答える必要はありません。答えが思いつかない場合や答えたくない質問は、答えずに次に進んでください。
- 回答の枠をすべて埋める必要はありません。

→ 次のページから、質問が始まります。

ちゅうがくせい とき き
あなたが中学生だった時のことについてお聞きします

問 1 あなたが学校を休み始めた時のきっかけや理由はどのようなことでしたか。できるだけ具体的に教えてください。

問 2 あなたが学校をよく休んでいたところに、不安だったり困ったりしていたことがあれば、教えてください。

例：・学校を休んでいた期間は勉強をあまりしていなかったので、進路に関する不安があった。
・将来のことを考えると不安でとても孤独だった。腹痛があって体調もずっと悪かった。

問 3 あなたが学校をよく休んでいたころを振り返って、「あの時にこのような手助けがほしかった」と思うことがあれば、教えてください。

例：・家や学校以外で一人でゆっくり過ごせる居場所があればよかった。
・不安な時に気軽に電子メールや SNS などで相談してアドバイスが欲しかった。

問 4 中学校3年生の時、あなたは次のような相談や場所を利用しましたか。相談・利用したものに
 ついては、それぞれ①～④について教えてください。(複数のページに分かれます。)
 (相談・利用の有無についてはどちらかに○を1つ。さらに、それぞれ相談・利用したものにつ
 いては①～④も回答してください。)

相談した相手・利用した場所	相談・ 利用の有無 (どちらか 1つに○)	相談・利用した場合	
		①週に 何日くらい 利用して いたか	②相談・利用したきっかけや目的 (どのようにして知りましたか、 なぜ利用しましたか)
記入例	①. した 2. しなかった	週に 2 日	例: 親にすすめられた。高校進学を考え、生活 リズムを整えながら、自分のペースで 学習に取り組もうと思って利用した。
1. 保健室や相談室などの 別室登校	1. 利用した 2. 利用しな かった	週に 日	
2. スクールカウンセラー・ 心のふれあい相談員への相談	1. 相談した 2. 相談しな かった		
3. 適応指導教室 (トライ)	1. 利用した 2. 利用しな かった	週に 日	
4. 民間施設 (「フリースクール」と 呼ばれる場所など)	1. 利用した 2. 利用しな かった	週に 日	
5. スクールソーシャルワーカー への相談	1. 相談した 2. 相談しな かった		

次のページに続きます。

「適応指導教室 (トライ)」を「利用しなかった」と回答した場合

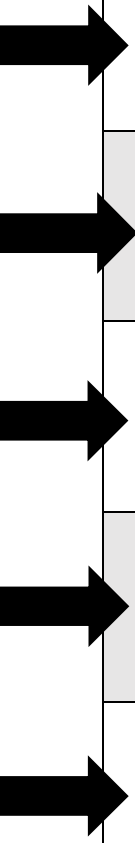
問 4-1 あなたが、適応指導教室 (トライ) を利用しなかった理由を教えてください。

例: ・トライの存在を知らなかった。
 ・同年代の子に会いたくなかったから行こうと思わなかった。

- 答えたくない質問は、答える必要はありません。 答えが思いうかばない場合や答えたくない質問は、答えずに次に進んでください。
- 回答の枠をすべて埋める必要はありません。 あなたご自身に**関係のあるもの**だけ、お答えください。

相談・利用した場合

③相談・利用してよかったと思うこと	④相談・利用したが、よくなかったと思うこと
例：・学習の支援を受けて勉強し、高校に進学することができた。また、通うために朝起きるなど生活リズムもととのつたと思う。	例：・同じ学校の生徒と会うのが嫌だった。



げんざい き
現在までのことについてお聞きします

と
問 5 現在までの間に、次のような方法で勉強や相談等をしたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 配信された授業などの動画を好きなときに視聴する
2. デジタル教材や学習アプリを使って学習する
3. オンライン授業にリアルタイムで参加する
4. SNS、電子メール、電話などを用いて助言をしてもらいながら家庭で勉強する
5. その他のインターネット上の教育サービスを使って勉強する
6. SNSで悩みごと等を相談する
7. 上のような方法での勉強や相談等をしたことがない ⇒問6へ

1～6のいずれかに○をつけた場合

と
問 5-1 上記の問5で回答いただいたようなICT機器（スマートフォン、タブレット、パソコン等）を活用した勉強や相談等のサービスについて、どのような使い方があなたに合っているとおもいますか。使ってみてよかったものや、よかった点について、できるだけ具体的に教えてください。

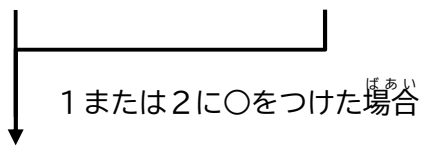
例：・配信された授業の動画は、自分のペースで休憩しながらみることができるのでよかった。
・学習アプリは自分がわからない内容を振り返りながら繰り返し勉強ができるのでよかった。
・学校や教室に行かなくてもオンラインで授業に参加できるツールを使ったことがあるが、ひとめを気にすることなく授業に集中できた。

問 7 問6-1で回答いただいたことについて、相談したいと思ったり、手助けなどがあればいいの
に思ったりしたのに、相談しなかった理由があれば、教えてください。

例：・誰かに相談を行うことに抵抗があったから。
・誰に（どこに）相談すればいいのかわからなかったから。

問 8 全体として、あなたの生活は、中学校3年生の時とくらべて良くなったと思いますか。
(○は1つ)

1. 良くなった 2. 悪くなった 3. 変わらない



問 8-1 どのようなことが良くなった、または悪くなったと思いますか。また、どうしてその
ようになったと思いますか。

例：・高校に楽しく通っている。信頼できる先生がいて、クラスの雰囲気もよく友達もできたから。

しょうらい せいかつ き
将来の生活についてお聞きします

問 9 これから5年程度の期間で、進路や就職、生活のことなどについて、現時点の目標や希望があれば教えてください。



問 9-1 上記の問9で回答いただいた目標や希望を実現するために、「このような手助けが欲しい」ということがありましたら、教えてください。



ご協力ありがとうございました。アンケートはこれで終了です。

3月2日（水曜日）までに、返信用封筒（切手不要）に入れて郵便ポストにご投函いただくか、スマートフォンなどからウェブ上での回答をお願いします。

あんしん がっこう 安心な学校づくりのためのインタビュー調査 ちょうさ

ほんじつ ちょうさ きょうりょく
本日はインタビュー調査にご協力いただき、ありがとうございます。あんしん がっこう
くりのため、こた はんい かま ちゅうがくせい とき おし
くりのため、答えられる範囲で構いませんので、中学生だった時のことなどについて教
えていただければと思います。

インタビューの内容は録音（録画）させていただきますが、きろく さくせいご
は確実に削除します。ご回答いただいた内容は個人が特定されないよう使用いたします。

インタビュー調査の実施概要

インタビュー日時	2022年 月 日（ ）	
インタビュー場所		
実施者	練馬区立学校教育支援センター	
	株式会社浜銀総合研究所	
	上記以外	
インタビューに 対応いただいた方 のことなど	お名前	
	年齢（中学を卒業してからの年数）	
	現在の学校やお仕事	
	その他のこと	

ちゅうがくせい とき 中学生だった時のことについて

(1) ちゅうがっこう ねんせい とき
中学校3年生の時は、どのようにすごしていましたか。

(2) 学校を休み始めたときのきっかけや理由はどのようなことでしたか。

(参考：12月のアンケートでの選択肢)

【学校のこと】

1. 友達のこと（いやがらせや、いじめがあった）
2. 友達のこと（いやがらせやいじめ以外、友達がいなかった、友達が転校したなど）
3. 先生のこと（合わなかった、怖かったなど）
4. 勉強のこと（勉強がわからなかった、授業がつまらなかった、成績がよくなかったなど）
5. 部活動の問題（合わなかった、同じ部活動の友達とうまくいかなかった、試合に出場できなかったなど）
6. 学校のきまりなどの問題（きびしかった、制服や持ち物のことなど自由がなかった）
7. 学校やクラスに合わなかった
8. それ以外の理由で学校生活と合わなかった
(具体的に： _____)

【学校以外のこと】

9. 家族のこと（親と仲が悪かった、親に怒られたなど）
10. 親の学校に対する考え（親がそもそも学校に行く必要はないと考えていたなど）
11. 家族の世話や家事が忙しかった
12. 身体の不調（朝起きられなかった、学校に行こうとするとおなかが痛くなったなど）
13. インターネット、ゲーム、動画視聴、SNS（LINEやツイッターなど）などの影響
14. なぜ学校に行かなくてはならないのかがわからなかった
15. その他（具体的に： _____)
16. 特にきっかけはない、または、わからない

(3) 学校をよく休んでいたところに、不安だったり困ったりしていたことがあれば、教えてください。

例：・学校を休んでいた期間は勉強をあまりしていなかったので、進路に関する不安があった。
・将来のことを考えると不安でとても孤独だった。腹痛があって体調もずっと悪かった。

(4) 学校をよく休んでいたところを振り返って、「あの時にこのような手助けがほしかった」と思うことがあれば、教えてください。

例：・家や学校以外で一人でゆっくり過ごせる居場所があればよかった。
・不安な時に気軽に電子メールやSNSなどで相談してアドバイスが欲しかった。

(5) 中学校3年生のとき、あなたは次のような相談や場所を利用しましたか。

「保健室や相談室などの別室登校」、「適応指導教室（トライ）」、「民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など）」を利用していた場合は、それらの場所を、多い時に週に何日くらい利用していたかも教えてください。

- | | |
|---------------------------|----------|
| ●保健室や相談室などの別室登校 | → 週に（ ）日 |
| ●スクールカウンセラー・心のふれあい相談員への相談 | |
| ●適応指導教室（トライ） | → 週に（ ）日 |
| ●民間施設（「フリースクール」と呼ばれる場所など） | → 週に（ ）日 |
| ●スクールソーシャルワーカーへの相談 | |

※「適応指導教室（トライ）」を利用しなかった場合

(5-1) 適応指導教室（トライ）を利用しなかった理由を教えてください。

(5-2) 相談・利用したものについて、相談・利用したきっかけや目的を教えてください。
(どのように知りましたか、なぜ利用しましたか)

(5-3) 相談・利用して、よかったと思うことを教えてください。また、相談・利用したが、よくなかったと思うことがあれば、その内容を教えてください。

(相談や場所を利用してよかったと思うこと)

(相談や場所を利用したけれどよくなかったと思うこと)

げんざい
現在までのことについてお聞きします

(6) げんざい 現在の間に、あいだ つぎ 次のような方法で ほうほう 勉強や べんきょう 相談等をしたことがありますか。

- はいしん 配信された じゅぎょう 授業などの とうが 動画を 好きなきに してしやう 視聴する
- デジタル教材や 学習アプリを つか 使って してしやう 学習する
- オンライン授業にリアルタイムで さんか 参加する
- SNS、電子メール、電話などを用いて 助言を してもらいながら 家庭で べんきょう 勉強する
- その他のインターネット上の 教育サービスを つか 使って べんきょう 勉強する
- SNS で なやみごと 悩みごと等を してしやう 相談する

(6-1) ICT機器 (スマートフォン、タブレット、パソコン等) を活用した 勉強や 相談等のサービスについて、どのような つか 使い方があなたに 合っていると 思いますか。 つか 使ってみて よかったものや、よかった点について、できるだけ 具体的に 教えてください。

- れい： • 配信された授業の動画は、自分のペースで休憩しながらみることができるのでよかった。
- 学習アプリは自分がわからない内容を振り返りながら繰り返し勉強ができるのでよかった。
 - 学校や教室に行かなくてもオンラインで授業に参加できるツールを使ったことがあるが、ひとめを気にすることなく授業に集中できた。

(7) 中学校を卒業してから現在までに、誰かに相談したいと思ったり、手助けなどがあればいいの
に思ったりしたことはありますか。

--

(7-1) 実際に誰かに(どこかに)相談しましたか。また、相談した結果について、相談先ごとに教えて
ください。

相談先	相談した結果について

※誰かに（どこかに）相談しなかった場合

(7-2) 相談したいと思ったり、手助けなどがあればいいのにと思ったりしたのに、相談しなかった理由があれば、教えてください。

例：
・誰かに相談を行うことに抵抗があったから。
・誰に（どこに）相談すればよいかわからなかったから。

(8) 全体として、あなたの生活は、中学校3年生の時とくらべてよくなったと思いますか。

特に、どのようなことがよくなった、または悪くなったと思いますか。

また、どうしてそのようになったと思いますか。

例：
・高校に楽しく通っている。信頼できる先生がいて、クラスの雰囲気もよく友達もできたから。

しょうらい せいかつ き
将来の生活についてお聞きします

(9) これから5年程度の期間で、進路や就職、生活のことなどについて、現時点の目標や希望があれば教えてください。

(9-1) 目標や希望を実現するために、「このような手助けが欲しい」ということがありましたら、教えてください。

【校長・副校長対象】不登校児童生徒への対応に関する学校アンケート

◎このアンケートは、学校で1つ提出してください。

◎このアンケートにおける「不登校」とは、「何らかの心理的、情緒的、あるいは社会的要因・背景により児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者（ただし「病気」や「経済的な理由」を除く。）」を指します。（「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の定義と同じです。）

学校名を教えてください。

選択

1 今年度の学校体制についてお聞きします。不登校児童生徒を支援を目的とした会議を行っていますか。（生活指導全般に関わる会議において、不登校児童生徒の支援に関する内容を取り扱っている場合も含む）

- 定期的に行っている
- 必要があるときに行っている
- 行っていない

① 「行っている」「必要があるときに行っている」と回答した学校にお聞きします。上記会議の開催頻度を教えてください。

- 週1回程度
- 2週間に1回程度
- 月1回程度
- 学期に1回程度
- 不定期（緊急性があるときに等）
- その他:

② 「行っていない」と回答した学校にお聞きします。行っていない理由を教えてください。

- 現在、不登校児童生徒がいないため
- 会議等の時間がなく、実施が難しいため
- 校内での報告・連絡・調整等の体制が整っているため
- その他:

2 貴校の教育相談体制（相談室等の利用やスクールカウンセラー等の紹介）を保護者へ周知している場合の主な方法を教えてください。（複数回答可）

- 保護者会等での周知
- 学校だより等による配布物での周知
- 個別に相談を受けた際に伝える
- 特段周知はしていない

3 児童生徒から個別に相談を受けた際の対応方法について教えてください。
(複数回答可)

- 相談を受けた者が、関係者に報告・連絡・相談し、対応する
- スクールカウンセラーや心のふれあい相談員などを紹介する
- 保護者と連携し問題解決に向けて対応する
- 緊急性がない場合は、見守りなどで済ませる
- その他:

4 不登校児童生徒の対応に係る校内研修を行っていますか。

- A 実施している
- B 実施していない

① 「実施している」学校にお聞きします。実施月はいつですか?(複数回行っている場合は、特に力を入れている月で回答してください。)

選択 ▼

② 「実施していない」と回答した学校にお聞きします。実施していない理由を教えてください。

- 現在、不登校児童生徒がいないため
- 時間の確保が難しいため
- その他:

③ 児童生徒の「相談する力」を育成するために行っていることを教えてください。（複数回答可）

- 都や区の研修に教員を参加させている
- 専門の講師を招へいし、校内研修会等を実施している
- 都の資料等を基に教員が授業を行っている
- 学校独自で子どもたちの実情に応じた教材を作成し、実践している
- スクールカウンセラーや心のふれあい相談員と連携し、個別に対応している
- その他:

5 校内における教育相談体制の中での、スクールカウンセラー・心のふれあい相談員の働きについて教えてください。

	十分協力してくれている	協力してくれている	もう少し協力してほしい
スクールカウンセラー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
心のふれあい相談員	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

「もう少し協力してほしい」場合に、どのようなことを協力してほしいですか。

回答を入力

6 「外部機関との連携」について教えてください。継続して連携している「外部機関」を教えてください。（複数回答）

- 学校教育支援センター適応指導教室（トライ・フリーマインド）、ぱれっと、つむぎ
- 学校教育支援センターのスクールソーシャルワーカー
- 福祉分野の居場所
- 教育相談室（練馬・光が丘・大泉・関）
- 東京都教育相談センター
- 練馬区の子ども家庭支援センター
- 練馬区の子ども発達支援センター
- 療育施設
- 児童相談所
- 警察（スクールサポーター含）
- 裁判所・少年鑑別所
- フリースクール等の民間施設
- その他:

7 外部機関との連携を意識する（相談する）きっかけを教えてください。（2つまで選択可）

- 校内の会議で、該当児童生徒への支援方針が固まったとき
- 該当児童生徒の言動等に不安を感じたとき
- 学校だけの対応だけでは、厳しい状況になったとき（教師の負担感の増加も含む）
- 該当児童生徒または保護者から要請があったとき
- その他:

8 不登校状態が継続している児童生徒に対する学習保障について、貴校で実施している内容について教えてください。（複数選択可）

- 別室登校（保健室登校）
- オンライン授業（ライブ配信）
- 放課後登校
- 学校からの課題配布
- 特に実施していない
- その他:

【教員対象】不登校児童生徒の対応に関するアンケート

- ◎回答したことによって、個人の特定はされません。（匿名集計されます）
- ◎このアンケートにおける「不登校」とは、「何らかの心理的、情緒的、あるいは社会的要因・背景により児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況にある者（ただし「病気」や「経済的な理由」を除く。）」を指します。（「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の定義と同じです。）

1 不登校を生じさせないための「未然防止」の視点で、大切だと思うものを教えてください。（複数回答可）

- 学校やクラスが、児童生徒にとって落ち着ける場所になること
- 児童生徒が主体となり、日々の授業や行事などで全員が活躍し、認められる場や機会があること
- 子どもたち同士のきずなづくり（場や機会をつくる）
- 子どもたちにとって「分かる授業」「楽しい授業」を目指すこと
- 関係する児童生徒の情報収集（引き継ぎの充実など）
- その他:

2 これまで、不登校児童生徒の対応に関わったことはありますか。

- 有
- 無



3 ご自身が教師（養護教諭含）として不登校児童生徒の対応をする際、課題だ
と思うことにチェックを入れてください。対応したことがない方は、ご自身の考
えを教えてください。（複数回答可）

- 該当児童生徒に対する学習課題の準備
- 該当児童生徒に対応するための時間の確保
- 該当児童生徒とのコミュニケーションの取り方
- 進路(進学)相談
- 保護者との連携
- その他:

4 不登校児童生徒への「初期対応」の時点で行う内容について「必要がある」
と思うものを選んでください。（複数回答可）

- 定期的な電話連絡
- 家庭訪問
- 学習課題や手紙などを届ける
- オンライン授業（授業のライブ配信）
- 別室登校（学校での個別対応）
- 放課後登校
- スクールカウンセラーや心のふれあい相談員との面談
- スクールソーシャルワーカーによる支援
- 適応指導教室などの利用
- フリースクールなど多様な学び場や機会があることを伝える
- 休み始めてから2～3週間程度は、何もせず見守る



その他:

5 「中・長期化」した不登校児童生徒への対応として、「必要がある」と思うものを選んでください。（複数回答可）

- 定期的な電話連絡
- 家庭訪問
- 学習課題や手紙などを届ける
- オンライン授業（授業のライブ配信）
- 別室登校（学校での個別対応）
- 放課後登校
- スクールカウンセラーや心のふれあい相談員との面談
- スクールソーシャルワーカーによる支援
- 適応指導教室などの利用
- フリースクールなど多様な学び場や機会があることを伝える
- その他:

6 不登校児童生徒への対応として、「必要ある」と考えるものを選んでください。（複数回答可）

- 教員同士による情報交換
- 教師等が悩んだときに相談できる相手や時間の確保
- 校内におけるマニュアル等の作成・整備
- 複数の教員で支援にあたる校内体制づくり
- 別室登校等、多様な学習機会の確保
- 学習支援アプリ等の更なる充実
- その他:



7 勤務している校種を教えてください。

小学校

中学校

8 今年度末時点での年齢を教えてください。

20代

30代

40代

50代

60代

送信



練馬区の不登校児童生徒が通う民間の団体・施設に関するアンケート

ご記入にあたって

- 特に指定がない場合は、令和4年6月時点の状況についてお答えください。
- 複数の施設・場所があり、質問中に特に指定がない場合は、練馬区立小中学校に在籍している児童生徒が通っている（または通っていた）施設・場所について回答してください。
- 回答は、枠の中に文字や数字を記入するか、あてはまるものにチェックをしてください。
- お答えづらい質問には、お答えいただく必要はありません。

返送・お問い合わせ先

- 調査票ファイルに回答を入力・保存後、**6月22日（水）まで**に、記入済のファイルを練馬区立学校教育支援センターに電子メールで送付してください（郵送させていただいた団体様は返信用封筒をご利用ください）。

【返送先】練馬区立学校教育支援センター 研究相談係

【メールアドレス】 EDCENT@city.nerima.tokyo.jp

【住所】練馬区光が丘6-4-1

【電話番号】03-6385-9911（月～金 8:30～17:15）

1. 団体情報

問1 貴団体について、以下のことを教えてください。				
(フリガナ)				
施設・場所の名称				
〒				
住所① (団体の本拠地)				
〒				
住所② (練馬区の児童生徒が通っている/いた 施設・場所) ※住所①と同じであれば不要				
活動開始年月	西暦		年	月
(フリガナ)				
設置者・団体の名称				
設置者・団体の代表者名				
(フリガナ)				
ご回答者様の氏名 (所属部署) ※ご回答内容に関する確認のみに使用します				
電話番号 (ご回答者様に連絡可能な電話番号)				
メールアドレス (ご回答者様に連絡可能なメールアドレス)				
問2 貴団体の法人格として、次のうちあてはまるものをひとつ選択してください。				
<input type="checkbox"/>	1 特定非営利活動法人 (NPO法人)	<input type="checkbox"/>	5 1～4以外の法人 (社会福祉法人など)	
<input type="checkbox"/>	2 学校法人 (準学校法人を含む)	<input type="checkbox"/>	6 法人格を有しない任意団体	
<input type="checkbox"/>	3 公益社団・財団法人、一般社団・財団法人	<input type="checkbox"/>	7 個人	
<input type="checkbox"/>	4 営利法人 (株式会社等)			
問3 貴団体が活動の情報を発信するために利用しているものをすべて選択してください。				
<input type="checkbox"/>	1 ホームページ	<input type="checkbox"/>	5 Instagram	
<input type="checkbox"/>	2 Twitter	<input type="checkbox"/>	6 YouTube	
<input type="checkbox"/>	3 Facebook	<input type="checkbox"/>	7 その他のSNS等	
<input type="checkbox"/>	4 LINE			

2. 不登校支援に関する活動の概要

問4 貴団体の教育方針や目標について、具体的に教えてください。			
問5 不登校の児童生徒を対象にした活動内容について、貴団体で実施しているものをすべて選択してください。 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現在中止しているものも含めて回答してください。			
<input type="checkbox"/>	1 個別の学習	<input type="checkbox"/>	10 子どもたちによるミーティング
<input type="checkbox"/>	2 授業形式(講義形式)による学習	<input type="checkbox"/>	11 学習成果、演奏や作品などの発表会
<input type="checkbox"/>	3 児童生徒が自宅等で取り組める オンラインを活用した学習	<input type="checkbox"/>	12 居場所提供
<input type="checkbox"/>	4 社会体験(見学、職場体験など)	<input type="checkbox"/>	13 家庭への訪問
<input type="checkbox"/>	5 自然体験(自然観察、農業体験など)	<input type="checkbox"/>	14 相談・カウンセリング
<input type="checkbox"/>	6 調理体験(昼食づくりなど)	<input type="checkbox"/>	15 受験勉強
<input type="checkbox"/>	7 芸術活動(音楽、美術、工芸など)	<input type="checkbox"/>	16 就労訓練
<input type="checkbox"/>	8 スポーツ活動	<input type="checkbox"/>	17 保護者会、親の会
<input type="checkbox"/>	9 宿泊体験	<input type="checkbox"/>	18 その他の特色ある活動
問6 不登校の児童生徒を対象にした学習に関して、貴団体では学習カリキュラムを決めていますか。			
<input type="checkbox"/>	1 学習カリキュラムを決めている	<input type="checkbox"/>	2 学習カリキュラムを決めていない
問7 不登校の児童生徒を対象にした学習に関して、使用している教材の種類をすべて選択してください。			
<input type="checkbox"/>	1 教科書		
<input type="checkbox"/>	2 市販の教材		
<input type="checkbox"/>	3 デジタル教材や学習支援アプリなどICTを活用した教材		
<input type="checkbox"/>	4 団体・施設またはスタッフが独自に作成・用意したもの		
<input type="checkbox"/>	5 その他(右枠内に記入)		
問8 貴団体の活動形態について、あてはまるものをすべて選択してください。			
<input type="checkbox"/>	1 通所型	<input type="checkbox"/>	3 訪問型
<input type="checkbox"/>	2 宿泊型	<input type="checkbox"/>	4 オンライン

問9 週当たりの開所日数について教えてください。									
						日			
問10 貴団体が通常開所している曜日について、すべて選択してください。									
<input type="checkbox"/>	1 月曜日	<input type="checkbox"/>	3 水曜日	<input type="checkbox"/>	5 金曜日	<input type="checkbox"/>	7 日曜日		
<input type="checkbox"/>	2 火曜日	<input type="checkbox"/>	4 木曜日	<input type="checkbox"/>	6 土曜日				
問11 1日の開所時間について教えてください。									
開所時刻		時		分	閉所時刻		時		分
問12 貴団体に特に力を入れている支援について、特にあてはまるものを 最大で3つまで 選択してください。									
<input type="checkbox"/>	1 学力に対する支援								
<input type="checkbox"/>	2 進学に対する支援								
<input type="checkbox"/>	3 キャリア形成に対する支援								
<input type="checkbox"/>	4 発達障害に対する支援								
<input type="checkbox"/>	5 カウンセリング、心理面に対する支援								
<input type="checkbox"/>	6 ひきこもりがちな子どもへの訪問対応								
<input type="checkbox"/>	7 独自の理念や方針による特色ある教育活動								
<input type="checkbox"/>	8 学校以外の居場所対応								
<input type="checkbox"/>	9 その他								
<input type="checkbox"/>	10 あてはまるものはない								
問13 受け入れ対象年齢について教えてください。									
下限		歳	<input type="checkbox"/>	対象年齢の下限は決まっていない					
上限		歳	<input type="checkbox"/>	対象年齢の上限は決まっていない					
問14 年齢以外に受け入れる子ども・家庭等の条件があれば、具体的に教えてください。									

<p>令和4年3月時点で、受け入れていた子どもの人数について、それぞれ教えてください。</p> <p>問15 ※②、③について、正確な人数を把握されていない場合は、「わからない」を選択してください。 「わからない」を選択された場合でも、それぞれの学年の人数について、わかる範囲で教えてください。</p>						
	① 受け入れ人数全体		② ①のうち練馬区立小中学校に在籍していた人数		③ ②のうち出席扱いとなっていた人数	
		人		人		人
小学1年生		人		人		人
小学2年生		人		人		人
小学3年生		人		人		人
小学4年生		人		人		人
小学5年生		人		人		人
小学6年生		人		人		人
中学1年生		人		人		人
中学2年生		人		人		人
中学3年生		人		人		人
その他の子ども (高校生年代以上)		人	/		/	
			<input type="checkbox"/>	わからない	<input type="checkbox"/>	わからない
<p>問16 貴団体に受け入れている子どもは、平均で週に何日程度、貴団体を利用していますか。</p>						
	週に		日程度			
<p>問17 貴団体に徴収している1か月あたりの会費（授業料）の金額について、あてはまるものをひとつ選択してください。 ※利用する頻度によって金額が変わる場合は、問16で回答いただいた頻度で貴団体を利用した場合にかかる金額を回答してください。 ※会費について補足等がある場合は、備考欄にお書きください。</p>						
<input type="checkbox"/>	1 会費を徴収していない		<input type="checkbox"/>	5 30,001円～40,000円		
<input type="checkbox"/>	2 10,000円以下		<input type="checkbox"/>	6 40,001円～50,000円		
<input type="checkbox"/>	3 10,001円～20,000円		<input type="checkbox"/>	7 50,001円以上		
<input type="checkbox"/>	4 20,001円～30,000円					
備考						

問18 入会金の金額を教えてください。 ※入会金を徴収していない場合は、0円と記入してください。			
		円	
問19 貴団体では、会費（授業料）、入会金以外の納付金を徴収していますか。			
<input type="checkbox"/>	1 会費、入会金以外の納付金がある	<input type="checkbox"/> 2 会費、入会金以外の納付金はない	
問20 貴団体には、会費（授業料）の減免制度がありますか。			
<input type="checkbox"/>	1 会費の減免制度がある	<input type="checkbox"/> 2 会費の減免制度はない	
活動に関わっているスタッフの人数について、それぞれ教えてください。 問21 ※複数の施設・場所がある場合は、練馬区立小中学校に在籍している児童生徒が通っている（または通っていた）施設・場所について回答してください（以降の質問でも同様）。			
週5日以上勤務の方	有給の方		人
	無給の方		人
週5日未満勤務の方	有給の方		人
	無給の方		人
うち、学生ボランティアの人数（有給・無給にかかわらず）			人
問22 活動に関わっているスタッフについて、以下の資格をお持ちの方の人数をそれぞれ教えてください。			
1 教員免許（小・中・高）保有者			人
うち、教員経験あり			人
2 心理に関する専門的な資格保有者（臨床心理士等）			人
3 福祉に関する専門的な資格保有者（社会福祉士、精神保健福祉士等）			人
4 上記以外の専門的な資格保有者（医師、看護師等）			人
問23 貴団体には、不登校の児童生徒が利用できる常設の施設がありますか。			
<input type="checkbox"/>	1 常設の施設あり（借用している場合も含む）		
<input type="checkbox"/>	2 常設の施設なし（活動の際に、公共または民間の施設を利用している）		

3. 利用者の進路に関する状況

<p>貴団体を利用していた生徒の中で、令和4年3月で中学校を卒業（義務教育を終了）した方は何人いますか。</p> <p>問24 ※令和4年3月に中学校を卒業した方がいない場合は、0人と回答し、問25に進んでください。 ※人数がわからない場合は、「わからない」を選択してください。</p>		
	人	<input type="checkbox"/> わからない
<p>問24-1 令和4年3月で中学校を卒業（義務教育を終了）した方の中で、以下の進路に進んだ方はそれぞれ何人いましたか。</p>		
1 全日制の高等学校	人	人
2 定時制の高等学校（チャレンジスクール含む）	人	人
3 通信制の高等学校（通信制サポート校含む）	人	人
4 特別支援学校高等部・高等特別支援学校	人	人
5 その他の学校	人	人
6 就職（パートやアルバイト）	人	人
7 就職（正社員）	人	人
8 家業や家の手伝い	人	人
9 その他	人	人
10 不詳	人	人
<p>問25 貴団体を利用していた中学生の卒業（義務教育終了）後の進路選択の特徴について、具体的に教えてください。</p>		

4. 学校や行政との連携について

問26 児童生徒の在籍校との連携について、貴団体で実施しているものをすべて選択してください。	
<input type="checkbox"/>	1 通所の実績や支援の状況に関する、定期的な情報共有
<input type="checkbox"/>	2 学校教員の、貴団体への定期的な訪問・見学の受け入れ
<input type="checkbox"/>	3 在籍校への復帰時の児童生徒に関する情報の共有
<input type="checkbox"/>	4 その他（右枠内に記入）
<input type="checkbox"/>	5 上記のような連携は行っていない
<p>【問26で「通所の実績や支援の状況に関する、定期的な情報共有をしている」と回答した場合】</p> <p>問26-1 児童生徒の在籍校と行っている「通所の実績や支援の状況に関する、定期的な情報共有」について、情報共有の方法や頻度について具体的に教えてください。</p>	
問27	貴団体で教育委員会と連携していることがあれば、連携している自治体名と連携の内容について、具体的に教えてください。
問28	学校や行政と連携を進めるうえで、必要だと思う取組があれば教えてください。

問29 今年度に、行政等から事業の委託を受けていますか。	
<input type="checkbox"/> 1 行政から事業の委託を受けている	<input type="checkbox"/> 2 行政から事業の委託を受けていない
問29-1	<p>【問29で「行政から事業の委託を受けている」と回答した場合】</p> <p>受託している事業について、委託元の自治体名（又は省庁名）や事業名、事業の概要について具体的に教えてください。</p> <p>複数の事業を受託している場合は、契約金額の高い順に、最大で3つまで記入してください。</p>
事業1	
事業2	
事業3	

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

練馬区不登校に関する実態調査報告書

令和4年（2022年）11月

編集・発行 練馬区教育委員会事務局 教育振興部

学校教育支援センター

〒179-0072 東京都練馬区光が丘6-4-1

電話 03-6385-9911

調査協力 株式会社 浜銀総合研究所

〒220-8616 神奈川県横浜市西区みなとみらい

3-1-1 横浜銀行本店ビル

電話 045-225-2372